

JP059 玉川 (たまがわ)

秋田県：大仙市、仙北市

位置	N 39° 34′ E 140° 33′
----	----------------------

面積	44ha
----	------

環境構成【河川】

玉川は雄物川の最大支川で、仙北市神代付近から下流では横手盆地の低地を流れる。鶯野付近では直線的に改修され、堤内地には水田が広がる。低水敷には所々に小規模な中洲やワンドが分布するが、広い川原は発達しない。低水敷～高水敷にはアシ原や、ヤナギなどの河畔林が散在する。



写真：桜田裕之

選定理由

A4i	オオハクチョウ
-----	---------

保護指定

法的な担保がない、もしくはわずか（10パーセント未満）である

保全への脅威

- ・2009年頃から、鳥インフルエンザの影響でハクチョウ類への給餌をやめるようになり、ハクチョウ類の数が減少した。
- ・水田で砂利の採掘が行われているが、水田でのハクチョウ類への給餌が行われなくなったため直接的な影響はない。
- ・河畔林の伐採

鳥類の個体数、生息環境の現状

- ・IBA サイトにおける重要な鳥類（IBA 選定基準種）の個体数の変化
減っている
- ・IBA 基準種の個体数のカウント調査実施の有無：有
＜調査データの入手方法＞
日本野鳥の会秋田県支部
- ・IBA 選定基準種の個体数に影響するような、IBA サイト内の重要な生息環境の変化：
変化がある
- ・IBA 選定基準種の生息環境：普通（70～90%が最適の状態）

- ・ IBA エリアの保全管理計画の有無：無

保全活動

- ・ モニタリング調査：実施者（日本野鳥の会秋田県支部）
内容：厳冬期における秋田県内のカモ科鳥類生息数調査

見られる鳥

玉川の水辺ではサギ類やカモ類、河畔林ではシジュウカラ類やキツツキ類が見られる。冬にはハクチョウ類が飛来する。

留鳥	カイツブリ、ダイサギ、アオサギ、カルガモ、トビ、オオタカ、ノスリ、カワセミ、アカゲラ、コゲラ、ハクセキレイ、コガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス
夏鳥	カッコウ、コヨシキリ、オオヨシキリ
冬鳥	マガン、オオハクチョウ、コハクチョウ、マガモ、オナガガモ、ホオジロガモ、カワアイサ、オジロワシ、ツグミ、エナガ、カシラダカ

関連団体・自治体・施設等

- ・ 日本野鳥の会秋田県支部

